

## 2【令和7年度版】放課後等デイサービス評価表(従業者向け) (回答)

質問内容	はい	いいえ	コメント 1	コメント 2	コメント 3	コメント 4
1. 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	小学生チームと中高生チームとスペースを分けて支援活動をしている	2部屋を使い分けている。	下の店舗から「音」へのクレームが多いため防音材を敷いている	来年度から活動内容によって狭く感じる部分がありそう
2. 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	利用者の状態により、職員数を変更したり、新職員導入時は増員したりすることで対応している。	子供達の人数を良く把握して見守り安い位置に移動し、子供達人数とスタッフの人数を確認し、見守りに合う体制にしている。		
3. 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	色分けやパーテーションを利用したり、イラスト付きの文字ポスターを掲示することでわかりやすくなっている。	私物や教材は壁際に配置、顔写真と共に自分の私物管理、身だしなみをきちんとできるようにしている	下の階に配慮し防音マットを設置したり、室内を「静かなエリア」と「動なエリア」マットの色分けして活動している。	クールダウンや安全地帯が必要な児童に対し十分な環境とは言えない為、改善が必要
4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	活動前後に清掃や消毒等を行っている。	生活リズムを取れるように時間で区切り 食事の自立において、食事に使う道具の準備を促している。空間に認知による活動の仕方を考えさせる	まだ移動したばかりで物が散乱して清潔とはいえないがこどもたちのスペースは確保している。	静・動各々の活動によりマットの色を変えている
5. 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	大部屋小部屋の使い分け、パーテーション等を利用下スペース作りを心がけている。	危険回避をふまえて子供達の安全を確保しプログラムに合う場所を使用。集中力が切れた子供には気分を切り替えられる場所を確保。改善はその場所が子供達に居心地が良いと思える場所と認識してもらっているかだと思う。	現在のところきっちりと個別の部屋はないが、今後作る予定があるとのこと。	クールダウンスペースの整備
6. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	定期的な研修を通し、職員に情報共有をする機会を提供している。	職員の中で常にpdcaサイクルを意識している。自由時間内で個人の要求の伝達が出来ているか、視線は何をとらえて行動に移すかを確認。	一定数参画していない職員がいる	
7. 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	アンケート終了後情報共有がなされている。	ホームページ、参加個人の保護者へ活動写真と内容を伝達。	全体の保護者会はここ1年開かれていない点は、今後開催されると希望します。	不具合により「はい」が押せない
8. 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	適宜面談が実施され、意見が取り入れられているように見受けられる。	会議を何回か設け伝達されたことを理解し職員同士で意見交換をして善処している	話しやすい雰囲気職場になっていると思う。	
9. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	私自身は、現状把握していない。	関与していないのでわかりません		
10. 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年に数回必要な研修が行われている。	様々な研修参加を促され、参加をしている	オンラインでも参加できるように工夫している。	職員が求める研修の開催をして欲しい
11. 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	2ヶ月分の活動カレンダーを作成し公表している。	5領域を把握してプログラムを作成	職員みんなで相談しプログラムが作られていると思う。	公式LINEを活用しプログラム内容を保護者用と児童用の2つを用意し公表している
12. 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	5領域と子供の課題、保護者の希望をふまえて、5領域を確認行き届いた支援プログラムを作成	利用者の自宅への送り迎えの際に、必ず引率の職員が保護者と対面し、お困り事や、ご希望ご要望を聞くようにしている。	担当者会議を複数人で参画するようになった	
13. 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	利用者個人のアプローチポイント等が表にされて閲覧できるようになっている。	個々の特性をふまえて、全職員で常に危険回避をし拙い語彙力からの伝達把握し子供達の気持ちに沿うように行動	毎月プログラム会議、シュミレーション会議が行っている。	
14. 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	情報共有は行われているが、今後も強化の必要性があると思われる。	月に行うプログラム計画を職員で5領域に合う形で、様々な行動を促し支援	そこを目指して、グループラインで職員全員が繋がっている。	
15. こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	子供のその日の体調や気持ちによりプログラム中適応行動が違いため見守りの職員が注意深く支援			

## 2【令和7年度版】放課後等デイサービス評価表(従業者向け) (回答)

質問内容	はい	いいえ	コメント 1	コメント 2	コメント 3	コメント 4
16. 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	集団の中で出来ることを増やし日常生活において大事なことを教える。他者を意識させ、距離をとり、社会という大きな空間を認識させる			
17. 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	月一回プログラム会議や全体ミーティング、シミュレーションミーティングは実施されている。	過去のプログラム、SNS、ネットを検索し合意できるプログラムを作成	月に1回予定されていて、職員みんなで相談しプログラムが作られていると思う。	当日休みの職員もその時間だけ出勤してもらえよう声かけを行っている
18. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節に合った行事等を入れる工夫をしている。	既に新しい情報を確認。成長する上に必要な社会性を意識して作成。個人の出来ること、興味を持ってしたいこと、できないと困る必要性のあることを意識している	季節の行事や地域のイベントを調べたり、こどもたちの意見も取り入れて考えられていると思う。	会議に参加できなくても、アイデアがあれば発信できるようになっている
19. こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	プログラムの活動と自由時間を有効に利用している。	意識して活動。社会性を養うためには繰り返しの行動を活動に入れて、不器用なことを把握する		
20. 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	短い時間であるが、活動内容の共有がされている。	プログラムにおいて役割分担 その日の利用者の体調 連絡事項を確認注意事項を伝達 把握し、その子どもに合うアプローチしつつ興味を持たせるようにしている	出来ない日が多い	出勤時間と送迎時間の兼ね合いで十分にできないこともある
21. 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	活動後の時間共有が困難のため、データによる情報共有がされている。	個人のスマホから共有。支援した子供の詳しい状況を把握、個人の視点から気づいたことを追加共有。	職員全員が参加するのは難しい。時間が足りない。	打ち合わせは行わないが全職員がいつでも閲覧出来るシステムを使い、出勤者が各自そこへ入力している
22. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	記録の記入はできているが、検討改善については強化する必要がある。	業務日誌を共有 確認、出勤していないスタッフも業務日誌を確認し把握	記録内容が不足しない形での簡素化	
23. 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	実施されているのは周知しているが、情報理解の強化が必要である。	会議中にモニタリングで気づいたこと改善を話す		
24. 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0	利用者の状況によって工夫がされている。	プログラムにおいて細かく支援項目を確認		
25. こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	いろいろやり方を工夫している。例えば、複数回答の選択、イラスト等による視覚情報による選択ができるようになっている。	本人の希望 プログラムを作成、積極的に参加を促す。視覚、聴覚、行動から選択出来ることを提案し家族との話し合いで決定してもらう	何をしたいかこどもたちに確認していると思う。こどもの意見を聞き入れて支援していると思う。	
26. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達管理者が会議に参加、必要に応じ共有をしている。	代表担当者が常に参画	複数人参加する事で、抜けを減らしより多くの視点で参加している	2名以上での参加機会を増やす
27. 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	児童発達管理者が会議に参加、必要に応じ共有をしている。	代表担当者が参画	わからない	
28. 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	0	学校、保護者宅からの連絡。送迎時に口頭による確認			
29. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	児童発達管理者が会議に参加、必要に応じ共有をしている。	代表担当者による伝達	わからない	
30. 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	私自身はそこまで関わっていないため不明。	関与していないので分からない	わからない	相談員さん経由でモニタリング資料を提供している程度。卒業前の担当者会議を開いてもらうよう依頼したい

## 2【令和7年度版】放課後等デイサービス評価表(従業者向け)(回答)

質問内容	はい	いいえ	コメント 1	コメント 2	コメント 3	コメント 4
31. 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパイプや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	児童発達管理者が会議に参加、必要に応じ共有をしている。	担代表者による助言、それについての研修を事業所で企画、参加		
32. 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	1	年に数回児童館等を利用し、土地等との交わりを体験できる機会を設けている。	他の倶楽部や教室の子供達や地域のイベントごとに積極的に参加		
33. (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	私自身はそこまで関わっていないため不明。	関与してないので分からない	わからない	
34. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎の引き渡し時、活動内容の説明や活動後活動状況の説明を行っている。	デイロボで確認、送迎時にその子供の状況を伝達		
35. 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	私自身はそこまで関わっていないため不明。	家族支援プログラムや研修のことは関与していないのでわからないが日々送迎時顔を合わせて情報提供をしている	行ってはいるがより多くの開催をしたい	
保護者への説明等(36-45)						
36. 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	児童発達管理者が適宜説明をしている。	デイロボの参加利用でプログラム参加希望 その時の負担など説明		
37. 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	児童発達管理者が、必要に応じ対応をしている。	デイロボでの確認、やり取りをしている		
38. 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	児童発達管理者が、必要に応じ対応をしている。	デイロボにて各家族に伝達		
39. 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	児童発達管理者が適宜面談をしたり、送迎受け渡し時に説明をしたりし、他の職員に情報共有している。	職員と共有、支援方法を確認		
40. 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	年数回、家族参加ができる活動が設けられているが、今後増やして行っても良いと思われる。	地域のイベントに参加、家族との交流を実施		
41. こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情があった場合、児童発達管理者等熟練した職員に情報共有、必要に応じて話し合い等を設けている。	伝達されたことを職員で共有。適切な解決方法を模索		
42. 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	インスタで活動カレンダー(活動内容付き)の公表の実施や連絡帳での情報提供を行っている。	保護者に内容を把握してもらうために情報を発信。信頼を得るために改善を実施		
43. 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	アンケートを通して保護者の意見を確認対応している。	活動中の写真など個人の顔、個人名等が特定しないように配慮		
44. 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	イラスト指文字などを利用しながら対応している。	集団参加を促す		
45. 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	家族ぐるみで参加できるイベントを増やす、地域の活動にも意欲的に参加し地域のルールを理解し他者を意識しながらの感情コントロールができるように意識して活動			
46. 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	年に何回か避難訓練を実施している。	常に緊急を意識しマニュアルを確認、繰り返しの訓練で職員と子供との対応を意識する		
47. 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	地域の消防署などのお話を聞く機会を設けたり、防災の必要性を話し訓練による危険回避を体験させる。	防災士などを招いて研修や事業所内点検を行っている		
48. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	その日の子供の健康状況を把握	与薬行為にならないように線引きを周知		

## 2【令和7年度版】放課後等デイサービス評価表(従業者向け)(回答)

質問内容	はい	いいえ	コメント 1	コメント 2	コメント 3	コメント 4
49. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	お弁当時と、料理を作る、試食時に確認と注意	該当児童なし	保護者に指示書の提供を依頼する必要あり	
50. 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	注意事項として手をつなぐ目を離さないを意識している			
51. こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	私の理解不足の為不明。	個人参加のイベントの時は情緒の安定 排泄 食事の自立など踏まえ計画		
52. ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	データで管理し情報共有ができるようになっている。	職員が共有し、再発防止の意識を認識して方法を検討		
53. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に研修が実施されている。	虐待にあたる項目を把握、研修に参加		
54. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	そのような対応に行ったことがないので不明。	代表が保護者と相談、心身による注意事項を伝達される	事例検討から共有する機会を増やしたい	